

主任コラム4月号

主任 澤井 良子

ご入園、ご進級おめでとうございます。令和4年度がスタートしました。

3月には、31名の年長児が保育園を巣立っていき、7名の新入園児を迎えて128名となりました。大切なお子様をしっかりとお預かりし、安心していただけるように職員一同保育にあたっていきたいと思っていますので、今年度もよろしくお願い致します。

コロナウイルス感染拡大予防で玄関対応となっているため、保護者の方には保育室が見て頂けず子ども達がどのように生活しているのか気にされてる方もみえると思いますので、各保育室の様子をお伝えさせて頂きたいと思います。

【0・1歳児保育室】

（寝・食・遊）生活の場が0・1歳で分けるのではなく同じ空間の中で混ざり合いながら、発達に合わせて子ども達が自由に活動できるようにコーナーが設定されています。去年度から食事は同じ空間で食べていますが、寝る空間は午前寝の子もいるので畳の部屋が静かな空間となり、また、午睡で早く起きた子がじっくり遊べる場所として、以前は0歳児の部屋だったところが遊びの空間となり個々の生活リズムにあった環境となっています。月齢での発達が大きいこの年齢では0歳児は0歳児というくくりではなく、1歳児との関わりで刺激を受けれるように子ども同士の関係も大切にしています。



【2歳児】

2歳児が単独なのは、基本的な生活習慣の自立がほぼ完成し、個性への発達と向かい合う準備期間となるためです。みんなで一緒にいること、やることの方で待つ、順番を守る、我慢するなどの人耐性を身に付ける経験も大事にして欲しいという事と、人との関わる力が育つ環境・子どもが自らしたくなる環境を大切にしたいと思っています。指先の力をつけるために帽子は洗濯ばさみで挟んでつるすなどの毎日の生活の中での積み重ねも取り入れています。



【2歳児クラスの横の食事コーナー】

今年度は、2歳児が少ないこともあり、2歳児の正面玄関側のお部屋を3・4・5歳児のグループ（ピンク・あお・きいろ・みどり）のうちの1つのグループの色がローテーションで給食を食べるコーナーとし、2歳児保育室の扉を開けて異年齢集団の姿をみたり、食事の仕方を見ることで刺激を受けたり、速やかな移行・関わりができるようにという環境へとなっています。（この部屋の利用は、子ども達が今の環境に馴染んでから、子ども達が分りやすいように部屋を利用するときは顔写真やグループのマークを入りに付けます）



【異年齢Aグループ】担任(金・木下・一見) グループの色(ピンク・あお)

ホールと旧さくらの保育室を使用

ホール→ 食事・積み木・製作・絵本・5歳児ロッカー

旧さくら→ 3・4歳児午睡・3・4歳児ロッカー、ゲーム、ラQ



【異年齢Bグループ】(担任・坂・ゆい・倉田) グループの色(黄色・緑)

旧くぬぎ組と旧とちのき組を使用

旧くぬぎ → 食事・積み木・ブロック・製作・5歳児ロッカー

旧とちのき → ラQ・パズル・表現・ごっこ遊び

3・4歳児午睡・3・4歳児ロッカー



新クラスが始まって、年長さんの子も小さい子に積み木の遊び方や身辺整理・給食の配膳の仕方などを教えてくれる姿が見られます。年長さんがこのような姿を小さい子に自らできるのは、いままで自分たちが大きい子たちにしてもらった経験があるからこそ、また年少さんが年長さんになった時へと繋がっていくのだと思います。少しずつ色々な環境に馴染んでいけるように私たち職員も関わっていきたいと思います。